

# エンブレムポスト TYPE L

## 施工説明書

---

### ■はじめに

- 製品の施工につきましては、必ずこの説明書に従ってください。
- 本施工説明書および取扱い説明書は、施工後必ずお施主様へお渡しください。
- この説明書は、大切に保管いただき、長くお役立てください。
- 製品の引き渡し時には、施主様に使用方法・使用上の注意・手入れの方法等の説明を十分に行ってください。また、付属の郵便物取出し口の鍵（2個）と六角レンチを施主様へお渡しください。

### ■同梱品の確認

- 付属品在中と書かれた小箱の中に、同梱品チェックリストが収められています。開梱後ただちに、同梱品とチェックリストの照合をおこなってください。
- 欠品がある場合は、チェックリスト記載の連絡先まで至急おしらせください。

---

## INDEX

- 設置上のご注意 ..... 2
- 施工上のご注意 ..... 2
- 梱包内容一覧..... 2
- 各部の名称 ..... 3
- 各部の寸法 ..... 4
- 施工手順 ..... 5～7

## ■設置上のご注意

- 設置場所に製品が収まるかを、施工前に必ず確認してください。
- 基礎位置および地中配線位置に、他の配管（水道・ガス）が埋込まれていないことを確認して下さい。
- ガス給湯器等の排気が直接当たる所には設置しないでください。
- 本体には電装部品が組み込まれていますので、梱包を屋外に放置しないでください。

## ■施工上のご注意

電気工事は、電気用品安全法に適合した部品と工事法に基づいた工事の施工を、電気工事店様にご依頼ください。

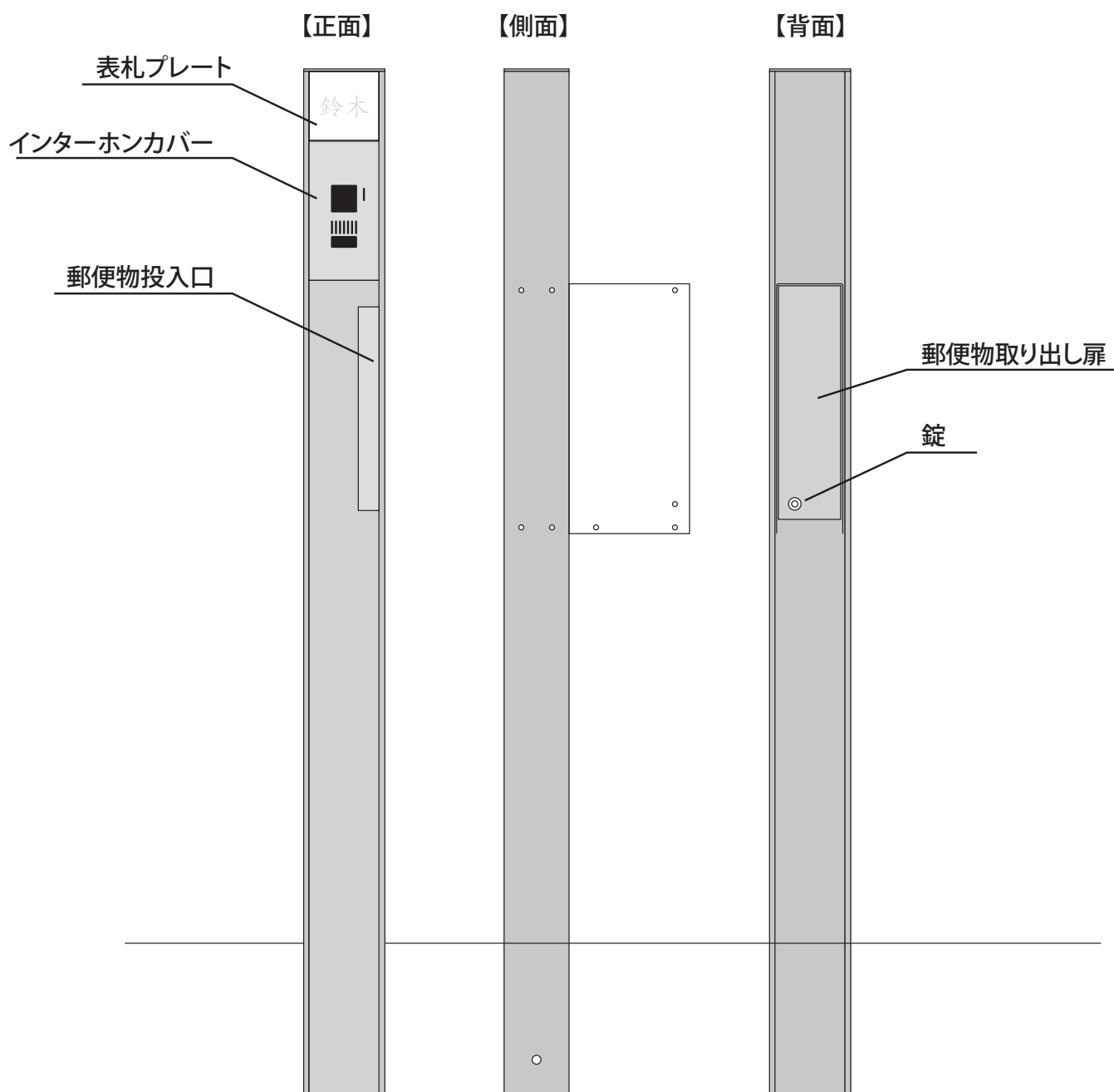
- 商品の施工につきましては、必ず本説明書に従って施工してください。
- 製品の改造・変更は絶対にしないでください。
- 照明、インターホン等の電気工事および地中の配線工事は、必ず電気工事店にご依頼ください。その際、本商品の施工をされる方と十分打ち合わせの上で、工事を行ってください。
- 本体に電源スイッチはありません。必ず屋内にスイッチを用意してください。
- 設置場所の地下埋設物の有無を確認し、それらを破損しないように注意してください。
- 基礎はかならず基準どおりに工事してください。
- 施工時に、本体に物をぶつけたり、傷を付けたりしないように十分注意してください。
- 施工の際、本体塗装部分に粘着テープや養生テープを貼り付けしないでください。
- モルタルやコンクリートの急結剤は、腐食の発生促進の作用がありますので使用を避けてください。または塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウムが入っていないものを使用してください。
- 施工時に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに拭き取ってください。
- 施工完了後、ねじ類のゆるみ・脱落がないように再度点検してください。
- 施工完了後、照明・インターホン等の作動確認を必ず行い、不具合がないことを確認してください。

## ■梱包内容一覧

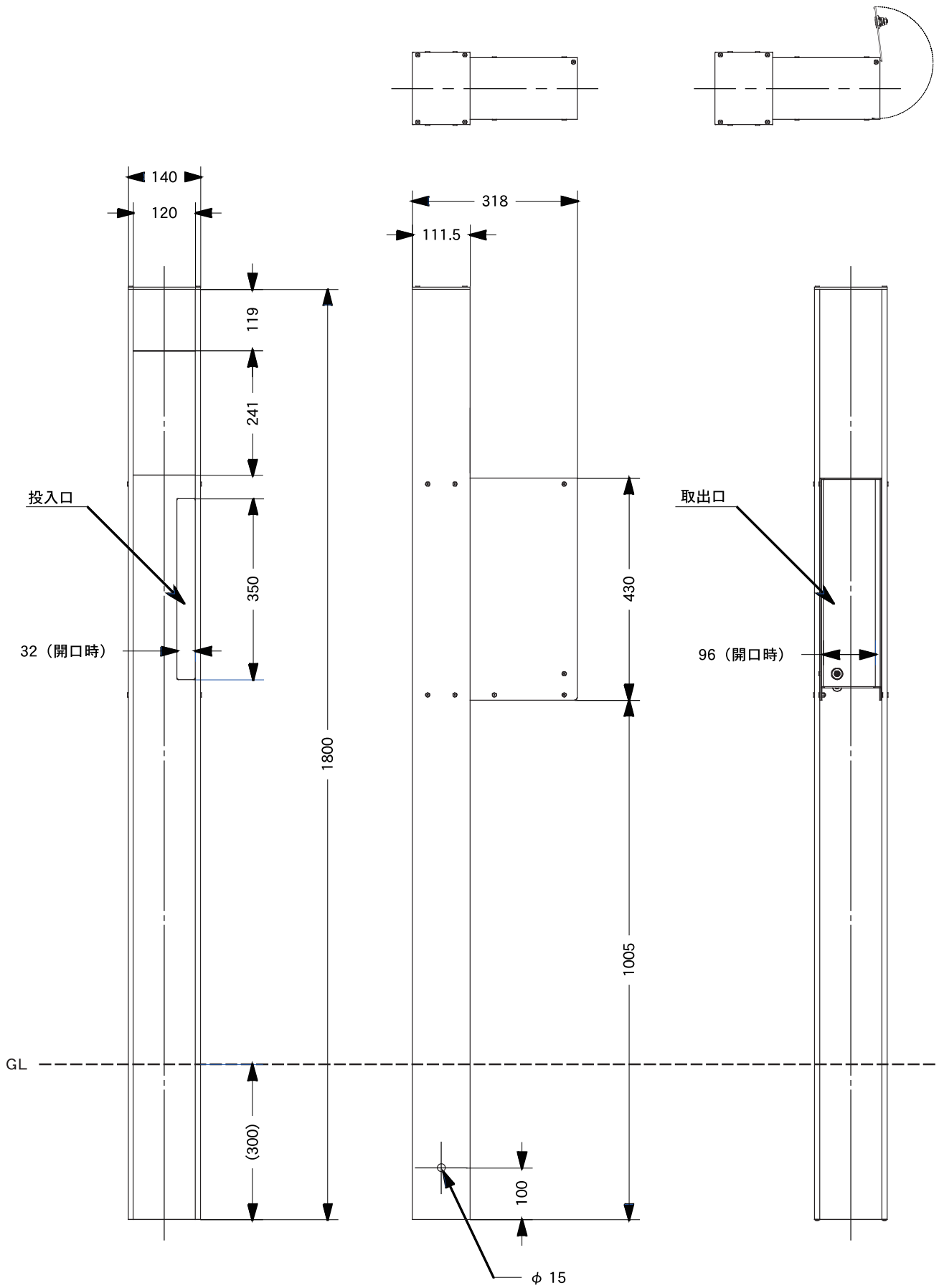
	名 称	個数
本体 梱包箱	TYPE L 本体	1
	電球型蛍光ランプ	1
	鍵	2
	六角レンチ	1
	F ケーブル結線方法（書類）	1
付属品 梱包箱	同梱品チェックリスト	1
	施工説明書（本書）	1
	取扱説明書	1
	表札注文書	1
	インターホンカバー（*1）	1
	表札プレート（無地アクリル板）	1
	呼び線	1
	F ケーブル結線方法	1

(\*1) インターホンカバーのオプションを発注されていない場合は、スリット加工していない無加工プレートを同梱しています。

## ■各部の名称



# ■各部の寸法



# ■ 施工手順

## 1 基礎工事

事前に地中配線用の工事をされる方と十分打ち合わせた上で、工事をおこなってください。

### ● 基礎の寸法

右図の寸法を参考に穴を掘り、コンクリートを打設してください。

#### ■■ 埋込作業時のご注意【重要】 ■■

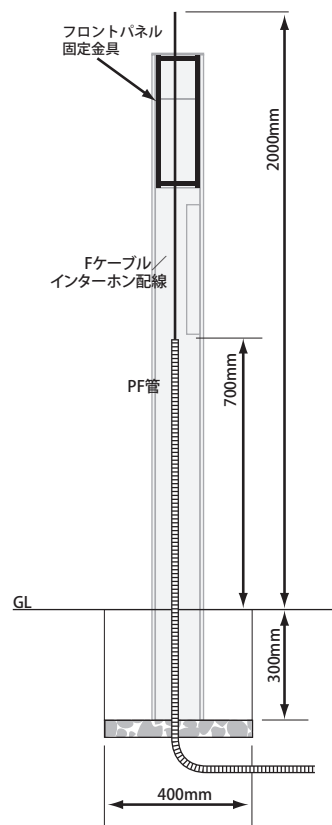
ポスト前面開口部に取り付けられているフロントパネル固定金具は、埋込施工が完了して、コンクリートが安定するまでは、取り外さないでください。

### ● 電気配線

AC100V 電源およびインターホン用の配線（インターホンを内蔵する場合のみ）は、PF管を通してエンブレムポスト TYPE L 本体下部から入るようにあらかじめ土中に埋め込んでください。PF管の長さは地表より約 700mm、電源線、インターホン信号線は同じく地表より約 2000mm 出るようにしてください。

#### ■■ 注意：Fケーブルの太さ ■■

ケーブルは VVF1.6mm 2芯以下の太さのものを使用してください。これより太いものは本体内部を通すことができません。



## 2 本体内部の電気配線

### ● 配線経路

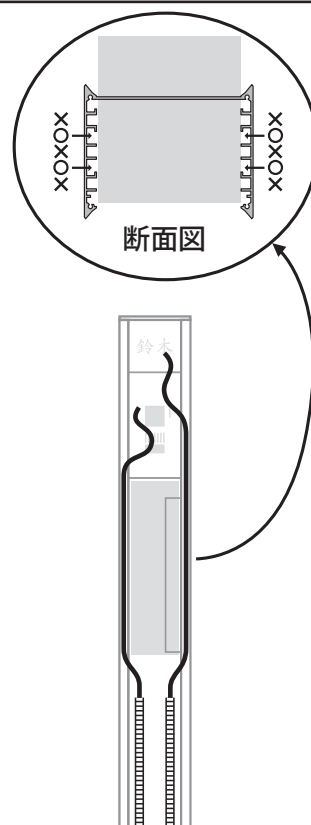
ポスト内部の左右の壁面に溝が付いています。その溝を通してポスト上部の照明部、インターホン部までケーブル類をのばしてください。

なお、内部の溝のうち、ケーブルを通すことができるのは、右の図に示すように中心をはさんだ2つの溝のみです。

なお、左右の壁面のいずれを使ってもかまいません。

### ● ケーブルの長さについて

インターホンや電球ブラケットを取り外すには、それぞれの部品をポスト最上部までスライドさせておこないます。つまり、電気配線にはそれぞれの部品をポスト最上部までスライドさせることができる余裕が必要になります。十分余裕を見て配線をおこなってください。



### 3 インターホンカバー

インターホン子機カバーはオプション品です。インターホンカバーをご発注の場合には、右図のようなスリット加工されたカバーが付属品ボックスの中に納められています。

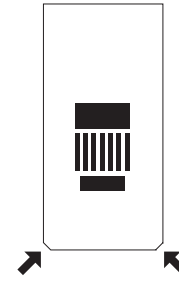
インターホンカバーをご発注されていない場合は、同じ形状でスリット加工されていないアルミ板が同梱されています。その場合は次の「4. 付属品の組み込み」の節から作業をつづけてください。

インターホンカバーの角には右の図に示すように切り欠きがしてあります。この切り欠きがある方が下側になりますので、ご注意ください。

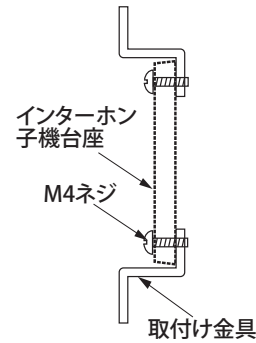
インターホン子機より、台座部分を取り外してください。（台座の取り外し方はインターホン子機の取扱説明書をご参照ください。）

インターホンカバーにネジ止めされている子機取付金具を取り外し、金具に付属のネジ（M4ネジ）で、インターホン子機の台座を固定してください。【図2】

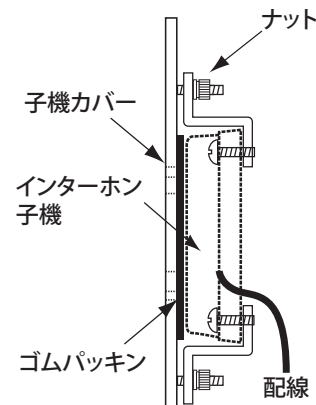
インターホン子機の取扱説明書に従い子機台座に子機本体を取り付けてください。取付金具をインターホンカバーの埋込ボルトにあわせ、付属のナットで固定してください。【図3】



【図1】カバー下側の切り欠き



【図2】金具に子機台座を取り付ける



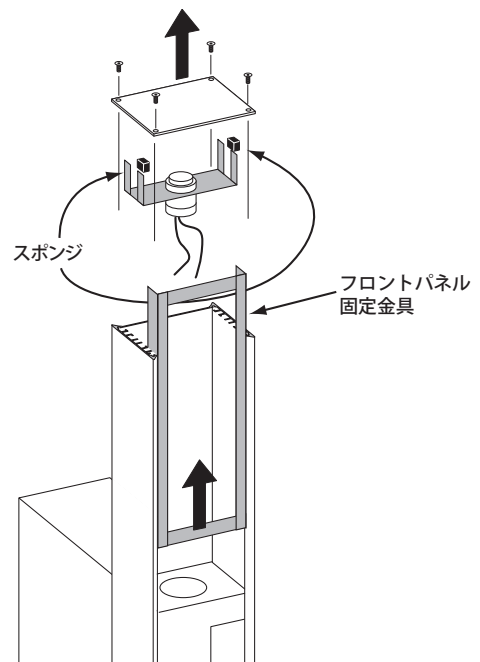
【図3】インターホンカバーへの取付

### 4 付属品の組み込み

#### ●天板取り外し

4本のネジをゆるめて天板を取り外してください。蛍光灯ソケットのついたブラケットを上にはずして取り外してください。ブラケットの上にグレーのスポンジがついていますが、組立時に使用しますので紛失しないようにしてください。

同じようにフロントパネル固定金具を上にはずして取り外してください。フロントパネル固定金具は、埋込施工時にフロントパネルのズレをふせぐためのものですので、設置完了後は不要になります。各自治体の法令にしたがって処分願います。



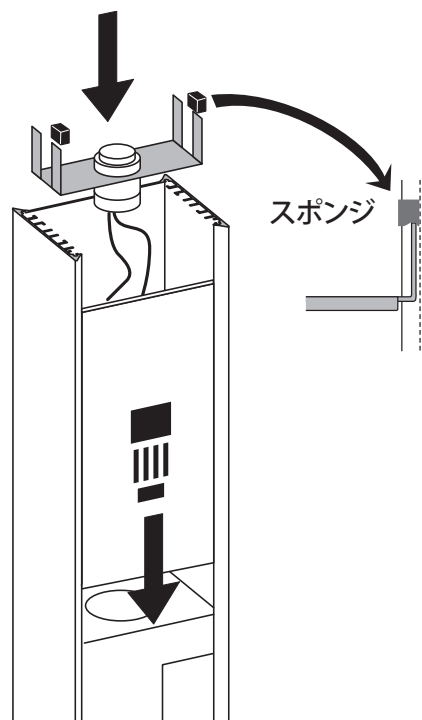
### ●配線と組み付け

インターホン子機を取り付けたインターホンカバーを本体上より差し込み、電球ブラケットを元の場所に差し込んでください。このときそれぞれの電気配線を接続してください。

なお、電気配線は、インターホン子機カバーおよび電球ブラケットをスライドさせて取り外せるくらいの余裕を持たせて置いてください。

インターホンカバーは、前ページの図1を参照して、上下方向に注意して組み付けてください。

ブラケットの上端にグレーのスポンジを挟み込んで、ブラケットががたつかないようにしてください。



### ●電球と天板の取付

本体付属の蛍光灯（出荷時に郵便受けの内部に固定しています）を、ソケットにねじ込み、表札プレート（アクリル板）をインターホンカバーの上側にスライドさせて入れて、天板をネジ止めしてください。

なお、天板には前後の方向があります。天板裏側に▲マークが記されていますが、その頂点の方向が正面側になります。

